

同志燃え 加治木!!

～「道」繋げる加高の心～



編集
加治木高校新聞委員会
印刷
吉屋印刷所

祝！弓道部 女子総体優勝！



五月に行われた鹿児島県総合体育大会で、加治木高校女子弓道部は初優勝を飾った。翌日の南日本新聞での左にあるような大きな写真入りの報道、さらに六月下旬の「黒ヨカ」のコーナーでの「四つ葉のクローバー」にまつわる逸話を目にした人も多いだろう。今加治木高校で最も脚光を浴びている部活動の一つ、女子弓道部の穂森千里主将に話を伺った。

さっそく四つ葉のクローバーの話をする、押し花を胸ポケットからさっと取り出した。毎日身に付けているのだろうか。泊先生のお嬢様が毎日さっすつ見つけていた。

「弓道の魅力は、決して終わりがなく、押し花と穂森主将は語った。試合では的中で勝負が決まるのだが、段をとる試験では

「形」も重要視される。「弓道は、他に比べてギャンブリが多いスポーツだと思えます。的中すること、観客を魅了する基本に忠実な「形」で弓を引くことは、必ずしも同じとはいえない。基本に沿った「形」ができるかどうかやそのよう

な「形」の美しさを追及する練習には終わりがありません。自分との闘い。ほかのスポーツにも勉強にも当てるべきことだ。自分が、自分をいつまでも磨いていくこと、武道の奥深さの一つらしい。

県大会前は弓道部一年生が集まって四つ葉のクローバーと先輩たち一人ひとりのイニシヤルが刺繍されたお守りを作り、先輩たちに渡したのだという。そのお守りを身に付けて、選手はどれほど心強かったことだろう。そのようなチームワークと他者を思いやる気持ち、加治木高校女子弓道部の強さなのだ。九州・全国の頂点を目指して、弓道部の暑い夏の挑戦はもう始まっている。



青春 プレイバック 第五回

上今常雄校長先生

今回の青春プレイバックは加治木高校ご出身の上今常雄校長先生です。

Q 高校生の頃の夢は何ですか。

A 漠然とですが、政治家

Q 当時の加治木高校の様子と現代の加治木高校との違いは何ですか。

A いわゆる「団塊の世代」で生徒数も多く、とにかく賑わっていました。元気で個性的な人も多かったように思います。

Q 当時の加治木高校の様子を見てみたいですね。思い出は何ですか。

A 「青春」をテーマによく友と語り合ったことや、推敲を重ねて、「ラブレター」を書いたこと、取っ組

Q 加治木高校には教師を目指している生徒がたくさんいます。校長先生が感じるような魅力を感じている生徒が多いからでしょうか。今年赴任していらっしゃる校長先生ですが、赴任が決まったときはどんな気持ちでしたか。

A 四十年ぶりに母校に帰

Q 加治木高校には教師を目指している生徒がたくさんいます。校長先生が感じるような魅力を感じている生徒が多いからでしょうか。今年赴任していらっしゃる校長先生ですが、赴任が決まったときはどんな気持ちでしたか。

A 四十年ぶりに母校に帰

Q 加治木高校には教師を目指している生徒がたくさんいます。校長先生が感じるような魅力を感じている生徒が多いからでしょうか。今年赴任していらっしゃる校長先生ですが、赴任が決まったときはどんな気持ちでしたか。

A 四十年ぶりに母校に帰

Q 加治木高校には教師を目指している生徒がたくさんいます。校長先生が感じるような魅力を感じている生徒が多いからでしょうか。今年赴任していらっしゃる校長先生ですが、赴任が決まったときはどんな気持ちでしたか。

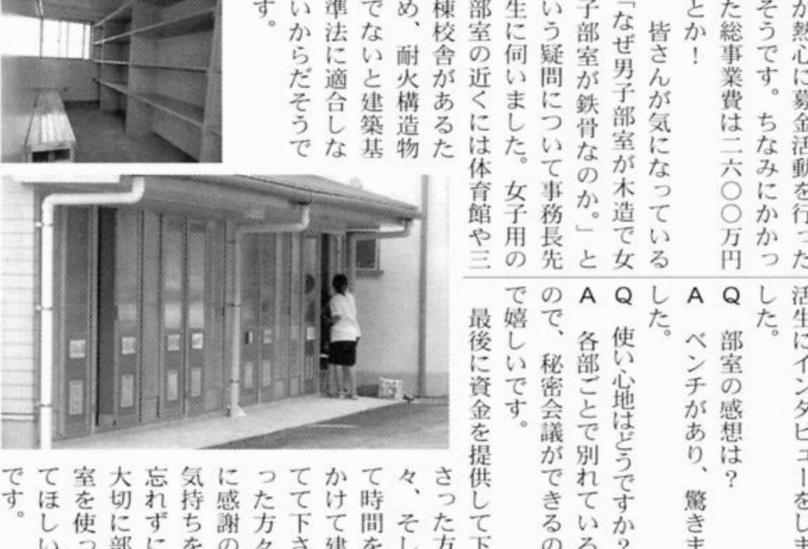
A 四十年ぶりに母校に帰

新部室誕生！竣工式行われる

新部室が六月二十一日に披露されました。初めて内部を目にした生徒からは、「すごい」「きれい」といった歓声や喜びの声があがっていました。

そもそも皆さんはこの部室ができた理由を知っていますか？この部室は創立百十周年記念事業として多くの方の募金を得て建てられました。主に同窓生の方々が熱心に募金活動を行ったそうです。ちなみにかけた総事業費は二六〇万円とか！

皆さんが気になっている「なぜ男子部室が木造で女子部室が鉄骨なのか」という疑問について事務長先生に伺いました。女子用の部室の近くには体育館や三棟校舎があるため、耐火構造物でないと建築基準法に適合しないからだそうです。



使用する部室は、野球・サッカー・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・卓球・テニス・新体操・バドミントン・ラグビーです。部室の設置にあたっては、先生方の中から部室の建て場所や広さについていろいろと意見がでて、まとめるのが大変だったそうです。

そこで部室を利用する部活生にインタビューをしました。

Q 部室の感想は？

A ベンチがあり、驚きです。

Q 使い心地はどうですか？

A 各部室で別れているので、秘密会議ができるので嬉しいです。

最後に資金を提供して下さった方々、そして時間をかけて建てて下さった方々に感謝の気持ちを忘れずに大切に部室を使っています。

平成20年度 生徒会発足

生徒会役員選挙の結果、六月九日正式に役員が任命されました。

はじめはただ単に「クラスから推薦されたから」という極めて単純な理由でしたが、日に日に、学校を少しでもいいものにしたい、一人でも多くの人に学校を好きになってもらいたいという気持ちが育ち、真剣に立候補して、みんなにこの思いを伝えたいと思ってくれました。

Q 演説中になぜ鹿児島弁を使ったのですか？

A 第一の理由はみんなに自分の話を聞いてもらいたかったからです。そのためには親しみやすい方言で話す方が飽きずに聞くことができます。楽しい時間を共有できる気がしました。他にも「インパクトのある演説」「雰囲気のある演説」「個性あふれる演説」これらに当てはまる演説をするには、鹿児島弁で話す方がいいと思います。体育祭、文化祭や各行事でも鹿児島弁を使

み合いの喧嘩(神社の境内での決闘)をしたことなどです。

Q 「ラブレター」をお書きになるなんて、とてもステキだと思います。また、そのラブレターの推敲のおかげで国語は得意だったというお話も興味深いと思いました。では、教師という職業のすばらしい点は何ですか。

A 人間性をぶつけ合う仕事であること、また、卒業後もずっと付き合えることにあります。

Q 加治木高校には教師を目指している生徒がたくさんいます。校長先生が感じるような魅力を感じている生徒が多いからでしょうか。今年赴任していらっしゃる校長先生ですが、赴任が決まったときはどんな気持ちでしたか。

A 四十年ぶりに母校に帰

時間をさいて頂きました。部活動の大会についても「がんばりなさいね」と声をかけて頂き、うれしかったです。緊張したインタビューも「ラブレターを書いたんだよ」という気さくなお話などで楽しくステキなものでした。

とてもやる気に満ち、生徒思いの心やさしい上今常雄校長先生、お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

陰樟

「内部告発」という言葉が世間に定着してから久しい。昨年は内部告発によって数多くの不祥事が明るみに出た。その中の一つ、船場吉兆は、様々な不祥事が発覚し、今年五月、ついに廃業に追い込まれた。

私は以前、これらの不正を告発した人々自身についての新聞記事やテレビのワイドショーを目にした。その時に、私はこう思った。告発した人は、複雑な気持ちで告発したのではないだろうか。不正を許せない気持ちと逆恨みや報復を恐れる気持ちとが交錯していたのではないかと。

内部告発がなされる一方で、集団いじめを苦にして自殺する人が増えている。なぜ集団いじめを防げないのか。周りで見ている人たちの中には、許せない気持ちがあふみ上げてくる人もいるはずだし、いじめている側の中にも、「悪いことをしている」という罪悪感を持っている人もいるかもしれない。それでも他の人に打ち明けられないのは、「仲間内での報復を恐れているからではないだろうか。」

内部告発者は法律によって、告発の対象とした会社などから不当な扱いをされないよう保護されている。いじめの場合にはどうだろうか。家族、友人、先生など、自分を保護してくれる人たちがたくさんいるのではないかと。今、他人をいじめていて少しでも罪悪感を感じている人や、いじめを目の当たりにした人がいたら、すぐに信頼できる人に告発してほしい。

そもそも、社会での不正は前から行われていたのだ。それが最近になって明るみに出たのは、不正を許さない、見逃さない風潮が出てきた表れだと思ふ。いじめに限らず、社会に出たら様々な不正を目にするかもしれない。不正を見逃さない。正義に勝つものはない。このことは、私の心の中にも留めておきたいことである。

四月から新しく本校に赴任された先生方(五十音順)に自己紹介と加治木高校の印象をお伺いしました。(校長先生は青春ブレイバックのコーナーで紹介しています)



理科 飯野 敦

岐阜県立多治見高校より、この四月に赴任しました。もともとは鹿兒島の出身で、岐阜県には教員の交流で三年間行っており、日本本真ん中に位置した岐阜県では、他県の良さも改めて、鹿兒島の良さも改めて感じる事ができました。教科の担当は理科総合、化学で、部活動は野球部の顧問をさせて頂いていただきます。本校に赴任して数ヶ月経ちますが、生徒の皆さんの爽やかな挨拶と、旺盛な学習意欲に非常に好感が持っています。それぞれの目標実現に役立つよう勤めていきたいと思っています。



保健体育 上籠 幸介

昭和五十二年八月二十一日生(三十歳)、B型、南大隅町(旧佐多町)出身。鹿屋高校・日本大学と卒業しました。専門競技はバレーボールです。二年三組副担任、女子バレー部顧問をしております。歴史と伝統あるこの加治木高校で、教師生活の第一歩を踏み出すことに喜びを感じています。生徒のみならず一緒に、明るく活気



理科 中島 亮

この四月からおもに一年生の理科総合Aを担当しています。専門は化学で、三月までは大学の大学院で次世代の新型太陽電池の開発をしていました。理科総合Aという分野は化学と物理を中心に生物や地学も学べる仕組みになっており、非常におもしろい分野だと思います。できるだけ教科書の内容をわかりやすく伝えるということをしつかりできる生徒が多い



英語科 新留 克郎

皆さん、こんにちは。三月迄、アメリカの小学校に勤務し日本語・日本文化を教えるという仕事をさせてもらっていました。日々新しい発見の連続で、大変貴重な経験をさせて頂きました。加治木高校は、雰囲気がとても明るく、あいさつをしっかりとできる生徒が多い



保健体育 平山 靖二

今年の三月に定年退職となり、四月から本校に保健体育の講師としてお世話になっております。特にも、趣味は強いと言え、ロードバイクで林道をサイクリングするぐらいの平凡な教員です。加治木高校の印象として環境の面では、非常に静かで学生生活を送るには最適な場所だと思います。生徒の気質も素晴らしく、清掃、挨拶等の事もよく指導されています。皆さんの今後の活躍を期待しています。



地歴・公民科 右田 郁雄

高校時代に影響を受けた本は大学生だった高野悦子の遺した日記「二十歳の原点」でした。自分というものの、四角い窓の外に広がる時代(歴史)を見つめることの意味を教えてくれました。今考えていることは、見えないものの中にある確かなことを探し、それをどう認識し、どう伝えていくかということです。とても難しいのですが、少しでも多く、できるだけ深く皆さんに伝えていければ、と思っています。廊下を行き交うとき、階段ですれ違うとき、青の時代を生きた高校生が「ここにいる」といつも感じています。

新任の先生方

ようこそ加治木高校へ



数学科 伊喜 博之

趣味は史跡めぐりで、座右の銘は「二期一会」です。さすが、創立百十周年を祝した伝統校と感銘した。初めて正門をくぐった時、目に飛び込んだのは、緑の木々の中に佇む海音寺文学碑でした。「天と地と」等の歴史小説に接してきた私には、彼の生き方の原点を知ることが出来そうです。さらに嬉しかったのは、聴覚検査後に、ほとんどの男子から「有難うございました」の一言が出たことです。女子は言うまでもない。これは加治木の良き校風です。すばらしい教育環境に



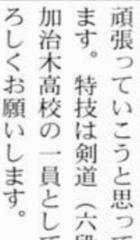
英語科 上妻 厳

年齢は六十一歳です。特技は弓道で、大学二年まで弓を引いていました。趣味はスポーツで、スポーツ番組を見たり、ゴルフをしたりをしています。また映画が好きで、休日には古い映画をよく見えています。平成四年から七年間、この学校に勤務していました。その時の印象と現在の印象とほとんど同じです。生徒は純朴でまじめ、一生懸命さがすばらしいと思います。また、環境もすばらしく、



事務次長 二宮 浩

前任校は、甲陵高校です。学校事務経験、三十六年目。高等学校という教育現場で働けることが楽しみで、この道へ入りました。高校生の皆さんと会話していると気持ちいいのも十代の青春です。スポーツ(テニス)大好き人間です。加治木高校の印象は、初めて正門の前に立った時、伝統の重みを強く感じました。生徒数が多いため、校内が活気に満ち溢れていま



数学科 橋野 勝利

初めて学校に来た日、グランドで部活動に励んでいる生徒、会議室で自習する生徒の姿を見て、文武両道を目指す本校の生活を感じることが出来ました。また、一日遠足の日、韓国岳山頂において、高千穂に届けとばかりに校歌を大声で歌っている二年生を見て



実習助手 福崎美智代

加治木高校の印象は、大きい・緑がいっぱい(特に校庭の楠)・各教室にエアコンが付いているのびびっくり!ここで働ける喜びを感じました。理科の実習教員として四月に加治木高校に赴任してきました。皆さんはあまり聞きなれないかと思いますが、私たちの仕事は一言で言うならば「実験・実習の専門家」です。理科の実験・実習がスムーズに行えるようにサポートしていくのが仕事です。安全で楽しく実験ができるよう精一杯がんばります。よろしくお祈りします。



数学科 本山 幸彦

十三年振り、二回目の赴任になります。湧水町栗野の出身で加治木高校卒業です。高校時代を入れると三回目という事にもなります。木造の校舎で学び、前回のとき、窓のサッシ化の工事が行なわれました。今度は耐震構造になり、学習環境が整えられました。生徒達は、真摯な態度で学習・部活動に取り組んでいる様です。あいさつなど気持ちのよい対応をしてくれ、話を聞けば、もっとと元気をだして欲しいです。受身の授業態度が気になります。不明な所は積極的に質問などしましょう。お互いに一生懸命頑張りましょう。



シリーズ第五弾 加治木と島津義弘公

参考文献「加治木の歴史」(加治木を中心とする中世史)

も、歴戦の武將らしく恒例の軍事教練では若い武士たちも追従できないほど巧みに馬を操り、城下の若者がぶらぶらしている姿を見つけては、本を読み精進するよう諭したりする姿があったと伝えられている。晩年の自由がきかなくなり、食事もままならなくなった時ですら、傍らの者が「殿、出陣でございます」と大きな声で叫ぶと、はっと我に帰ったかのように、姿勢を正して食事をする義弘の老いた姿があったとか。生涯を戦場に生きた歴戦の勇士の身に染みたる習性だったと言える。義弘は一六一九年85歳でこの加治木で波乱の生涯を終えた。春秋の花も紅葉もどまらず人も空しき閑路なりけり

入学後はじめての一日遠足

五月二日、加治木高校一年生は、一日遠足で吹上浜海浜公園に行きました。生徒の遠足にかけられる思いが通じたのか、前日の雨があがり気持ちのよい晴天となりました。バスの中で、ゲームやお喋りを楽しんでいる間に、吹上浜海浜公園に着きました。バスから降りると、砂で作られた像が皆を出迎えてくれました。その日は公園に隣接した「砂の祭典」の開催初日であり、多くの生徒が自由時間に鑑賞しました。テーマに沿って砂の像が作成されており、中にはとても砂で作ったとは思えないほど精巧なものもありました。この遠足で、話したこと



2年生と3年生は登山でした。

という人も多いのではないかと思います。楽しく充実した遠足になりました。 出典・sumurai world yuzuru nanor house

五つの部活動の部長にインタビューしました

男子ハンドボール部

Q どうしてハンドボール部に入部したのですか？
 A 中学校でもハンドボールが大好きで、試合で満足したんですが、試合で満足した結果を出せなかったのので、加治木高校でもハンドボール部に入部したのですか？

Q キャプテンという視点から、どのようなチームでしたか？
 A 一人一人の個性が強く、とてもスピードのあるチームです。また、平山先生のご指導のおかげで、組織的なプレーが出来るチームになりました。

Q 部活動をする中でうれしかったことは何ですか？
 A チームをまとめること、指導のおかげで、組織的なプレーが出来るチームになりました。

Q 毎日の練習が結果に結びついたり、成果として現れた時です。特に速攻やスライディングが成功した時はチームが勢いづき、とても良いムードになりました。
 Q 今までに大変だったことは何ですか？
 A チームをまとめること、指導のおかげで、組織的なプレーが出来るチームになりました。

Q キャプテンとして心がけていたことは何ですか？
 A 常にチーム全体のことを考えて行動することです。特にチームの志気を高めるために、声を出して盛り上げていくことを大事にしました。



サッカー部

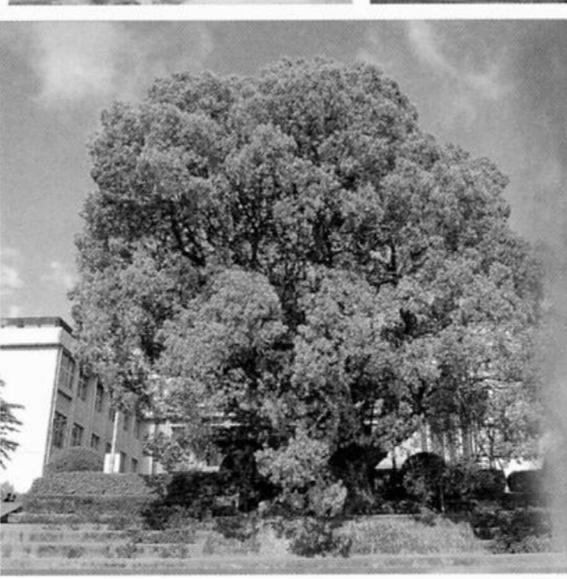
Q 入部したときの思いは？
 A 自分自身を高めるために、最もふさわしい部であることを感じた。

Q 部長からみてどんな部でしたか？
 A チームとしても個人としてもまだまだ未熟ですが、頑張り次第で成長できる部です。

Q 顧問の先生へ一言どうぞ
 A 顧問の先生へ一言どうぞ

Q 部長として気をつけていることは？
 A 後輩の文章の良いところを伸ばしつつ、推敲することです。

Q 大会を通して学んだことは？
 A 文章を書くにあたっての表現の仕方や話の組み立て方を学びました。



Kajiki Clubs that Rock!

女子ハンドボール部

Q どの部員がいますか？
 A 一人一人の個性が強く、一年から三年までとても仲が良いです。

Q 順位を追求するのではなく、全員で揃って踊ることを第一に、一つのものを作り上げていくことや、協調性の大切さです。

ダンス部

Q 部員は何人ですか？
 A 一年生四人、二年生十人、三年生九人です。

文芸部

Q 文芸部に入った理由は？
 A 将来編集者になりたいので、文章力を付けるためです。

北京オリンピック開催間近!

オリンピック特集

第一回アテネ大会

近代オリンピック競技大会の記念すべき大会は、古代オリンピックの故郷ギリシャのアテネで開催された。開会式はアテネのパナテナイ競技場に五万人の観衆を集めて行われたが、参国は欧米先進国の十四カ国、会の付属大会として開かれた。

第二回パリ大会

パリで開催されたオリンピックは、同年に開催予定だった万国博覧会の付属大会として開かれることになった。大会そのものは女性選手の参加などで盛大に行なわれたが、メダルが選手の手に届いたのはこのトラブルが生じ、国民の感情が収拾できないほど悪化してしまった。

第三回セントルイス大会

セントルイスで開かれた。ペンシルベニアのある主教が、各国選手団に「オリンピックで重要なことは勝利することより、むしろ参加したことである。」と説法をした。

第四回ロンドン大会

この大会では、アメリカの独自のな使用スポンサーを許可するなど、商業資本を大幅に導入しています。ビジネスの場としても、オリンピックは注目されるようになり、活動に国際オリンピック委員会への賄賂が提供されたことが問題になりました。

豆知識

今年北京オリンピックの年です。オリンピックは、古代ギリシャにおける最大級の競技会「オリンピック」の祭典をヒントに、一九世紀末にフランスで発想されました。単に「オリンピック」と言ったり、日本ではそのシンボルマークから「五輪」とも呼称するほか、その理念から「平和の祭典」とも言ったりします。

シンボルマークである「五輪」は、「五大大陸」を表しています。

- ①オセアニア
- ②アジア
- ③アフリカ
- ④ヨーロッパ
- ⑤アメリカ

また、五つの「自然現象」

- ①青い水
- ②黄い砂
- ③黒い土
- ④緑い木
- ⑤赤い火

「スポーツの五大鉄則」

- ①情熱
- ②水
- ③体力
- ④技術
- ⑤栄養

インタビュー!!

教育実習生



徳石翔先生



宮田朋幸先生



霧丸雅之先生

Q 今回加治木高校で学びたいことや得たいことは？

A ①教師の仕事のあり方
②教師の目線から学校を見た。
③将来自分が何をしたいのか明確にしたい。

Q 高校時代はどんな生徒でしたか？

A ①サッカー部のキャプテンでした。
②二年生の二学期までは真面目だったが、恋愛問題をきっかけに成績が下がりました。
③勉強と野球を両立させ充実した日々でした。

Q 母校にきての感想を。

A ①うれい。
②学校が綺麗になっていて、でも生徒は昔と変わらず素直ですね。
③挨拶ができて礼儀正しい生徒が多いですね。

Q 好きな言葉は？

A ①「初志貫徹」
②「できないとは、臆病なだけである。色々なことにチャレンジしよう。」

Q 加高生にメッセージを。

A ①先生のおっしゃることを良く聞き、勉強と部活を頑張ってください。
②高校三年間はあつという間に終わるので、後悔しないように、色々なことにチャレンジしてください。
③自分のやりたいことを見つけて頑張ってください。

三名の実習生の方々御協力ありがとうございました。先生方も自分の夢に向かって頑張ってください。

希望に満ちあふれた教育実習生三名にインタビューしました。

もうすぐ一学期が終わり夏休みが来る。三年生にとっては勝負の夏休みとなるだろう。私自身、学力を上げようと努力して目標に向かって今までいたつもりでいた。しかし、周りと同じように努力を重んじ、上を励むつもりで、少し高な目標を定めた。その結果、なかなか思うように進んでいない。周りと同じように努力を重んじ、上を励むつもりで、少し高な目標を定めた。その結果、なかなか思うように進んでいない。周りと同じように努力を重んじ、上を励むつもりで、少し高な目標を定めた。その結果、なかなか思うように進んでいない。



もうすぐ一学期が終わり夏休みが来る。三年生にとっては勝負の夏休みとなるだろう。私自身、学力を上げようと努力して目標に向かって今までいたつもりでいた。しかし、周りと同じように努力を重んじ、上を励むつもりで、少し高な目標を定めた。その結果、なかなか思うように進んでいない。周りと同じように努力を重んじ、上を励むつもりで、少し高な目標を定めた。その結果、なかなか思うように進んでいない。

祝！九州大会出場

川畑みなよさん



六月三日、四日に「鹿児島県高等学校空手道競技大会」が行われました。その大会で、加治木高校一年の川畑みなよさんが「形三位、組手五位」という結果で九州大会出場が決定しました。今回は、その川畑みなよさんへインタビューをしました。

Q 川畑さん、九州大会に出場しての感想を教えてください。
A 練習の成果を全て出さず、そして多くのことを大会で学びたいです。
Q 川畑さんのことを、これから加治木高校全体で応援していきますよ。
A 川畑さんのことを、これから加治木高校全体で応援していきますよ。

ビバ青春!! 第23回定期演奏会



五月十八日(日)、加音ホールにて、加治木高校吹奏楽部による定期演奏会が行われました。幅広い年齢層の方が来場し、加音音楽に

Q 九州大会に向けての意気込みをどうぞ。
A 練習の成果を全て出さず、そして多くのことを大会で学びたいです。
Q 川畑さんのことを、これから加治木高校全体で応援していきますよ。
A 川畑さんのことを、これから加治木高校全体で応援していきますよ。



Farewell, Iris

ALTのアイリス先生にインタビューをしました。



Q 加治木高校の印象はどのようなものでしたか。
A みなさん賢く、勉強熱心な学校だと思いました。
Q 加治木のいいところは。
A とても自然が豊かで美しいところだと思います。
Q 日本と出身地の文化の違いで驚いたことは何ですか。
A 日本はあまり男女平等ではなく、男性の方を尊重しているように感じます。例えば、入学式の時、歩く順番や座る順番など男性の方が先です。私の母国は、日本のように、部活が男性しかできないものがあるということはありません。例えば野球やサッカーなどは加治木高校では男性のみの部活動です。アメリカでは男性用の部活があるものは女性もあるように、男女共にあるんですよ。

最後に今年七月で、ALTをやめ帰国されることになったアイリス先生から加治木高校生へのメッセージです。アイリス先生帰国されてもお元気で!!

What's up Kajiki!
It has been almost a year since I first came to Kajiki High School. I am so impressed with your level of dedication and hard work. American students would have a lot to learn from you!

At the end of July, I am returning to the United States. Although this makes me very sad, I take many wonderful memories of your school with me. Watching you do spider fights during sports day, taking pictures of my cousins with the dance club, and talking to students in the library will be some of the things I most remember about my time here.

I realize some of you may stop learning English once you reach university, but I encourage you to keep learning English or other languages. English is an international language that can make it easy to communicate with people everywhere. Also, learning English -as well as other languages- will give you more opportunities to share your culture with others.

I will miss you teaching you guys a lot. I wish you well and I hope you continue learning -especially English- for a long time to come.

Later!
Iris =)

加治木高校が舞台!

今年、鹿兒島県内の演劇部員が一丸となって一つの大きな劇を作るという十年一度の挑戦の年、加治木高校の演劇部員も八名参加しています。オーディションを行い、週末に鹿兒島市内に集まって練習を重ねてきました。八月の公演までラストスパート。精一杯演技をそと、スタッフとして舞台づくりをがんばっています。



亡師亡友慰霊祭のようす

二〇〇八年 鹿兒島県高等学校演劇連盟 創立六十周年記念合同公演

二十年、八月。

演劇を愛する高校生と顧問が、ひとつになる。10年に1度の別荘

日時：2008年8月13日(水)
① 13:00開演 13:30開演
② 17:30開演 18:00開演

入場料：高校生以上 500円 (座席700円)
中学生以下 無料

会場：かこしま県民交流センター 風帆ホール

主催：鹿兒島県高等学校演劇連盟 鹿兒島県高等学校文化連盟
協賛：鹿兒島県教育委員会 鹿兒島市教育委員会 鹿兒島県演劇協議会

一	岸本 敬人
二	山崎 智雄
三	柏木 翔太
四	大迫 潤一
五	牧野 寛貴
六	福元 友美
七	是枝 聖子
八	隈本 真理
九	千竈 桜子
一〇	市来滉史郎
一一	米澤 みく
一二	丸山斗志樹
一三	津曲 将吾
一四	東 菜々美
一五	藤田 直生
一六	今給黎 駿
一七	農頭 恭平
一八	南上 有紗
一九	浅山 聖月
二〇	西田 心平
二一	植山 太介
二二	平 有稀
二三	市川 詩乃
二四	深川 千明
二五	徳石真亜子
二六	久保 光平

編集後記

この新聞は多くの方々の支えがなくては完成しませんでした。インタビューに快く応じてくださった生徒の皆さんやお忙しい中時間を割いてくださった先生方に深く感謝しています。またここまで読んでくださった皆さん、本当にありがとうございました。この新聞を読んで、みなさんが「加治木高校っていいな」と思っていて、積み重なった歴史があったといい学校だなあ。」と感じ、「また明日からがんばろう!」という気持ちのお手伝いになることができれば、編集者として、この上ない喜びです。